

新潟駅周辺に防犯カメラ

県警初、来月から運用

県警は13日までに、新潟市中央区のJR新潟駅周辺に街頭防犯カメラを設置した。県警が同カメラを設置するのは初めて。3月1日から運用を開始する予定で、犯罪抑止につなげるとともに事件・事故発生時の捜査にも活用する。

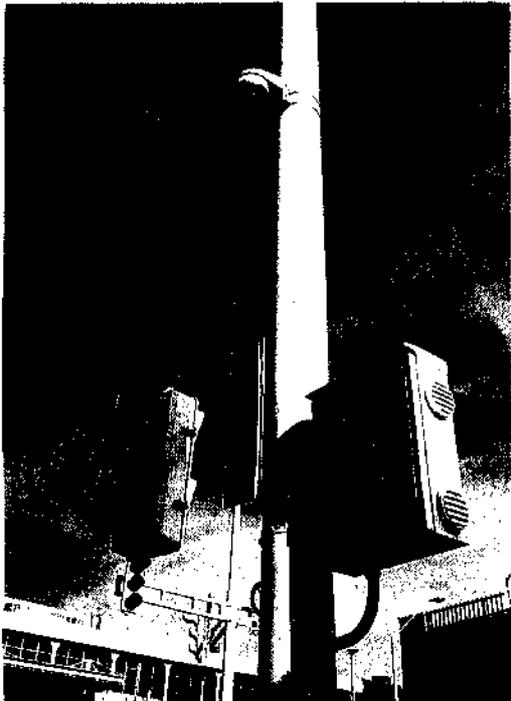
新潟駅万代口側に3が占め、前年より187件増えた。特に新潟駅周辺での被害が多いという。県警は、県が定める「防犯カメラの設置及び利用に関する指針」に基づき、繁華街での客引きや、自転車置き場で多発している自転車盗の防止を図る。

新潟駅周辺を管轄する新潟東署管内では、2013年の刑法犯認知件数2867件の約3割に当たる846件を自転車盗人らのプライバシーに配慮して運用するという。県警は「犯罪抑止が第一の目的。その上で事件や事故が発生した際には映像を捜査に活用する」としている。

設置について、新潟大学法学部の鈴木正朝教授(情

警察庁によると、警察による街頭防犯カメラは昨年3月時点で18都道府県に設置されている。

繁華街での防犯カメラ



県警が新潟駅南口近くに設置した街頭防犯カメラ＝新潟市中央区

報法は「市民のプライバシーのないよう映像の消去方法の定義や運用のチェックが必要だ」と話し、